

JXエネルギーの家庭用電力小売事業 （「ENEOSでんき」の紹介）

当社は2016年4月より、東京電力管内の一般家庭に「ENEOSでんき」のブランド名で電力販売を開始している。2003年に電力小売事業に参入して以降、主力である川崎天然ガス発電所などの自社電源や契約満了後のIPP（独立発電事業）電源の小売活用によって発電能力を増強し、業務用ビルや店舗、倉庫、工場、学校などに取引先を拡大してきたが、今般の電力全面自由化を受け、満を持して家庭用小売に参入したものである。

ウェブサイトやENEOSサービスステーション店頭において申し込みができる体制を整えるとともに、家電量販店や通信事業者などと連携し、これまでの申込件数は12万件（2016年8月末時点）に到達した。

料金メニューは、シンプルかつ分かり易さをコンセプトとし、電気料金だけで「おトク」になる商品設計とした。さらに2年契約割引のオプションメニュー、ENEOSカードでのガソリン割引など、支払い方法に応じた各種特典も展開している。

今後は、各代理店チャネルでの販売力強化や新たなマーケティング施策展開、対面販売力の強いアライアンス先の開拓を進め、早期に50万件的契約獲得を目指していきたい。

（リソース&パワーカンパニー 電気事業部 電気業務グループ 篠原 庸介）

 ENEOSでんき



「ENEOSでんき」のブランドロゴ



川崎天然ガス発電所の夜景